

通勤急行バス「通勤ライナー」 の実証運行を行いました！

～快適な通勤環境を創出することで「マイカー」
から「バス」への利用転換を目指します～



「マイカー通勤」の現状

沖縄県では自動車保有台数が年々増加し、マイカーが主な移動手段となり、バスをはじめとする公共交通の利用率が低く、特に朝夕の通勤時間帯を中心に、慢性的な交通渋滞が発生しています。また、マイカー利用はバスの約2.5倍の二酸化炭素を排出するため※、地球温暖化対策の観点からも公共交通利用促進が急務となっています。

沖縄本島中南部における朝夕ピーク時の交通渋滞の解消等のため、沖縄総合事務局では、昨年度に引き続き、通勤急行バス「通勤ライナー」の実証運行を、令和4年1月11日から2月7日まで(平日のみ)行いました。

※環境・運輸部門における二酸化炭素排出量②、輸送量当たりの二酸化炭素の排出量①・国土交通省
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosai_environment_tk_000007.html



通勤ライナーの外観

実証運行の内容について

今回の実証運行においては、「読谷ルート」(読谷バスターミナル～那覇空港)、「うるまルート」(具志川バスターミナル～那覇空港)、及び「南城ルート」(南城市役所～那覇空港)の3つのルートにおいて、朝2便、夕刻2便ずつ運行しました。

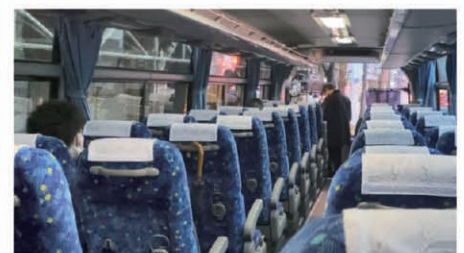
今年度は路線バス事業としての自走化に向け、本実証と同経路の既存路線バスの運賃と同額運賃にて実施し、運行ルート上の乗降バス停は利用者が多いと見込まれる箇所を選定しました。

車両については、ゆったり座ることのできる貸切バス車両を使用し、無料で利用できるWEB、モバイルバッテリーを用意し、マイカー通勤では困難なメールの確認や資料作成が可能になるなど、より快適に通勤をすることができ、環境を整えました。



貸切バス車両でゆったり座れます

また、マイカーから「通勤ライナー」に乗換(パーク&バスライド)ができるよう、駐車場を準備したほか、WEBサイトにてバスの現在位置情報の表示や、車内の消毒や換気など、感染症予防対策を徹底しました。



通勤ライナー車内

題を整理し、マイカー通勤からバス通勤への利用転換の促進を図って参ります。

沖縄総合事務局では、今回の実証実験におけるアンケートの結果を踏まえ、将来、路線バス事業としての運行の可能性について課題を整理し、マイカー通勤からバス通勤への利用転換の促進を図って参ります。

お問合せ先 運輸部企画室
098-866-1812